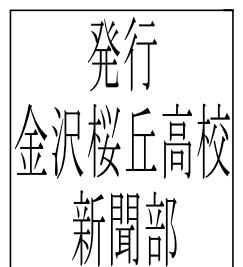


平成28年10月 県コンクール 7年連続最優秀賞を獲得



賞状を受け取る見方さん



第65回石川県高等学校新聞コンクール総合の部審査会において桜新聞第22

1号が7年連続となる最優秀賞に選ばれた。

また、この大会において企画賞と学芸賞も受賞しました。

現部長の國谷明日香さんはこのことについて「先輩方と作った新聞が7年連続最優秀賞を受賞できて本当にうれしかったし、安心しました。これからは、人數

が少ない中でも桜高生のみんなが読みたいと思える新聞を作つていただきたいです」と語った。

当時部長の見方みのりさんは「先輩方が重受け継いできた最優秀賞を私たちの代でも取ることができたのでうれしかったです。部長と新聞の内容についてたくさん話し合つたりして自分たちの中により良い新聞を作ることを目指して続けた

ことが最優秀賞に繋がつた

んだと思います」と感想を述べた。

また、8月1日から3日

にかけて行われていた第40回全国高校総合文化祭で第20回全国高校新聞部紙面審査が行われ、本校新聞部は優良賞を獲得した。

新聞部の毎日

編集後記

今回の新聞部紹介号で

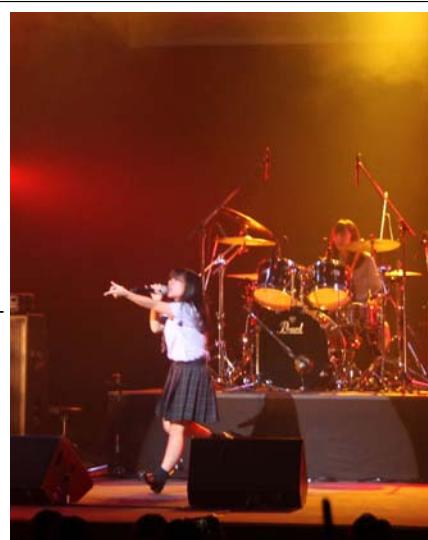
現在新聞部は2年生4人、1年生2人の計6人で毎日楽しく活動しています。先日、桜新聞第22号を発行しました。現在は来る三校合同の秋の合宿と新人戦の取材に向けて、各々が日々奔走しています。

これからも、部員全員が一丸となつてより良い新聞作りを目指して誠心誠意頑張っていきます。今後とも桜新聞をどうぞよろしくお願いします。

8月1日から3日にかけて行われた第40回全国高校総合文化祭新聞部門には4人の部員が参加し、全国の新聞部員と交流を深めました。それぞれグループにわ

かれて広島について学び、他のメンバーと協力し新聞を作り上げました。

本校新聞部は、現在少人数ながらも互いに協力して助け合い、日々仲を深めています。来年の新入部員に期待を込めつつ、今後も生徒に密着したよりよい新聞作りを心がけます。

ひろしま総文で新聞部が取材した
軽音楽部門